

保険の窓口インズウェブ [調査レポート] 飲酒運転を無くす取り組みについて調査を実施

飲酒運転に対する規制が厳しくなった最近でもいまだにニュースでよく見る飲酒運転による自動車事故。「お酒を飲んで運転するというのはしてはいけない事。」と誰しもが知っている事なのに何故無くならないのだろうか。

そこで今回、保険の窓口インズウェブでは、ユーザーの皆さんに、「どういった取り組みをすれば飲酒運転がなくなるのか」について調査を行いました。

Web 上でも表示しています。(<http://www.insweb.co.jp/research/report/vol011.htm>)

質問 中々世の中から無くならない飲酒運転。 どういった取り組みをすればなくなると思われますか？

調査概要

調査方法 インセンティブなしのインターネットによる任意回答
(保険の窓口インズウェブ会員へのメール配信)

メール配信数 645,361 通

有効回答数 6,441 件

調査期間 2009年2月15日～2月27日

調査結果

【罰則・取り締まり強化】

もっと厳罰にするとか、検問を増やすとか、積極的に取り締まったほうがよい。郊外の飲食店で車で来ているのに全員が飲酒している光景を見ると怒りがこみ上げる。安直に飲酒をする人が後悔するくらい厳罰にしたほうがよい。(40代・男性)

飲む人はいくら言っても「自分は平気」としか思わないから、飲み屋近くの駐車場出口や住宅街の入口など、あらゆるところで日常的に検問を行い、強制的に飲めない(飲んだら捕まる)状況を作り出すしかないのでは。(30代・男性)

飲酒検問を増やす。駐車違反の取締りを民間に委託するのと同様、1検問に配備する警官の数を減らし、民間で補う代わりに、検問回数、箇所を増やす。(40代・男性)

基準値なんてやっているから、なくなれないと思う。検出したら、一発取り消しにすればいいと思う。(40代・男性)

罰則を苛烈にするしかないでしょう。都会はどうか知りませんが、私の田舎では未だに平然と飲酒運転をしています。(30代・男性)

【そもそも運転をできないようにする】

飲酒をしたらエンジンがかからないようなシステムでも作らない限り止められない状況まで来ているように思います。パーキングエリアやスーパーの駐車場に停めた車両内で飲酒をしている人を数回目撃したことがありゾッとしました。(30代・女性)

スウェーデンで見たが、エンジンをかける前に車についているアルコールセンサーに息をふきかけてからでないとエンジンをかけられない機能。(40代・男性)

【お酒を提供する飲食店や運転代行等の改善】

まず、国道沿いのファミレスでの10時以降のお酒類の提供をなくす。駅から遠い居酒屋では車で来た方には鍵を預けてもらい、帰りに検査後鍵を返す。(50代・男性)

店のまえだろうが、なんだろうが警察が取りしめる。居酒屋などに駐車場があること自体おかしい。店側にもっと自覚させるべき。(30代・男性)

代行運転等の充実を図った方が良いのではないかと思います。全員が交通の便の良いところにいるわけではないので。(40代・男性)

【ドライバーへの働きかけ】

こればかりは最終的にはドライバー本人の気持ち、意識次第なので難しいと思いますが、いつかの駐車違反の取り締まりに国をあげて対策を練ったように、一度大掛かりにやってみないといけないのかとは思いますが、みんないい大人なのに情けないです。(50代・女性)

個人の、問題です。何をしても、無くなりません(警察官でも、たびたび飲酒運転しますから)(50代・男性)

人としての問題だと思う。(30代・男性)

【道徳面での教育が必要】

コモンセンス、一般常識の子供時代からの地域・社会が一体となった教育が必要と考えます。(40代・男性)

自分だけがよければというのが、恥ずかしい考えだという道徳意識を高めるしかないのでは。(40代・女性)

飲酒運転が何故悪いのか飲酒はどうして20歳からなのか、当たり前の子供のうちに教育をすることが基本で、その事を知っていなければならぬ大人が子供より悪い常識を正当化している事を厳しく罰する必要がある。(40代・女性)

罰則を厳しくし、逃げ得を許さない様にする。見つからなければ良いとの風潮が蔓延している。道徳教育の復活が必要である。(50代・男性)

【その他】

免許更新時に取得時と同じようなテストを行い、不合格者には免許を交付しない。(30代・男性)

飲酒運転だけでなく、公共の場での飲酒禁止など、欧米なみにすべき。タバコばかり厳しく、飲酒に甘いのが日本。街中で酔っばらっていること自体、犯罪である。(40代・男性)

会社員など、酒を断れない状況がある。タクシーで帰る金も無い人間が飲酒運転をする。アルコールを体から飛ばすサプリとかあれば便利。罰則を厳しくしても減らないと思う。(30代・男性)

取締り強化。警察怠慢。5年間、飲酒検問に出会った事がない。5年前に一度あった。その前は、記憶にない。警察や行政は本気で飲酒運転無くしたいと思っていないのでは。(40代・男性)

飲酒運転について「罰則を強化」、「アルコールチェック」「お酒を提供する飲食店や運転代行等の改善」「教育」と様々な種類の意見を頂く事ができた。

「罰則を強化」する取り組みとしては、丁度 2009 年 6 月 1 日に、「道路交通法施行令改正」が施行され、酒気帯び運転等の罰則が強化される。基礎点数が大幅に引き上げられており、免許が取り消しになる可能性が非常に高くなる。そしてさらに交通事故を起こした場合には懲役や罰金、被害者への賠償といった事も必要になり、まさに人生を棒に振るような事になるだろう。

【2009 年 6 月 1 日に施行される道路交通法施行令の主な改正点】

		改正前	→	改正後
酒気帯び運転	呼気1リットル中 0.25mg以上	免許停止90日 基礎点数13点		免許取り消し 基礎点数25点
	呼気1リットル中 0.15mg以上0.25mg未満	免許停止30日 基礎点数6点		免許停止90日 人身事故を引き起こした場合 には免許取り消し 基礎点数13点
欠格期間	危険運転致死	5年	8年	ひき逃げの 場合は 最長10年
	危険運転致傷		5年～7年	
	酒酔い事故	2年	3年～7年	

今回ユーザーから頂いた意見の中で目を引いたのが、「道徳面での教育が必要」という意見が見られた事である。「飲酒運転が何故悪いのか飲酒はどうして 20 歳からなのか、当たり前の子供のうちにすることが基本で、その事を知っていなければならない大人が子供より悪い常識を正当化している」といったユーザーからの意見などから見られる通り、悪い事と良い事をしっかりと子供の頃から教育をする必要があるのかもしれない。

飲酒運転は先に述べた通り、事故を起こした場合には飲酒運転に対する罰則以外にも賠償が必要になる。自動車保険の任意保険においては、たとえ、飲酒運転であったとしても被害者保護の観点から対人賠償保険と対物賠償保険の保険金だけは、支払われることになっている。しかし、搭乗者傷害や車両保険といった、運転者や同乗者に対して使う補償は受けられない場合が多いようだ。(詳細は加入中の保険会社にご確認下さい。)

最後に、飲酒運転は行ってはいけないことである。飲酒運転で検問に引っかかるのではない、人を轢いてしまって怪我や死亡させて莫大な賠償金と共に半生を刑務所で過ごすのか、自損事故で半身不随になってしまうのではないかというリスクを考えながら運転をするのではなく、タクシーや運転代行といったサービスを活用したいものである。

飲酒運転は、お金と人生を天秤に掛けているといっても過言ではない。

そして、自転車での飲酒運転も立派な道路交通法違反になるので、注意頂きたい。

自動車保険一括見積もりサービス ~ 簡単 5 分で自動車保険を見直し ~

< PC 版 > <http://www.insweb.co.jp/>

分かりやすい解説動画はこちら

<http://www.insweb.co.jp/0autoins/01howto/howto.htm>

<携帯版> <http://www.insweb.co.jp/i/auto/mobAuto100.mob>

「保険の窓口インズウェブ」について

「保険の窓口インズウェブ」は、2000年にインズウェブ株式会社（ソフトバンク・ファイナンス株式会社とアメリカの InsWeb, Inc.、米金融会社の Marsh、& McLennan Capital による合併会社）がサービスを開始した「自動車保険一括見積もりサービス」を中心とした保険比較サイトです。1回の見積もり依頼で複数の保険会社から見積もりが取れる等のサービスの利便性の高さから、現在までに述べ340万人（2009年5月現在）以上の方に利用されており、インターネットにおける自動車保険比較サイトとして確固たる地位を確立しております。現在の運営会社はSBIホールディングス株式会社となり、自動車保険だけに留まらず、生命保険・バイク保険・ペット保険等の比較サービスも合わせて展開しており、中立的な立場からより一層のサービス向上と利用者拡大に注力しております。

・ 自動車保険一括見積もりサービス 参加会社数：22社

・ 生命保険等一括資料請求サービス 参加会社数：20社

商品数：約55商品 2008年12月4日現在

保険の窓口インズウェブ 運営サイト

自動車保険一括見積もり : <http://www.insweb.co.jp/>

生命保険等一括資料請求 : <http://life.insweb.co.jp/>

学資保険等一括資料請求 : <http://life.insweb.co.jp/gakushi/>

個人年金等一括資料請求 : <http://life.insweb.co.jp/nenkin/>

バイク保険一括資料請求 : <http://bike.insweb.co.jp/>

火災保険見積もり依頼 : <http://kasai.insweb.co.jp/>

ペット保険一括資料請求 : <http://pet.insweb.co.jp/>

生命保険相談「保険@カルテ」 : <http://life.insweb.co.jp/karte/index.html>

生命保険「保険を語ろう！」 : http://life.insweb.co.jp/aa/life/contents/user_voice/

携帯版自動車保険一括見積もり : <http://www.insweb.co.jp/i/auto/>

携帯版生命保険一括資料請求 : <http://www.insweb.co.jp/i/life/>

アンケートデータをご掲載いただく場合のクレジットは、

「保険の窓口インズウェブ調べ」等をお願い致します。

保険の窓口インズウェブでは、会員ユーザーに対して定期的にアンケートを実施し、「**ネットで保険を比較したユーザーの声**」としてアンケートの結果を適宜公表しております。

本プレスリリースについてのお問い合わせ先

SBIホールディングス株式会社 インズウェブ事業部 安井・紀山

〒106-6019 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー19F

TEL 03-6229-0817 FAX 03-6229-0583

Email insweb_press@sbigroup.co.jp

アンケートに関するご要望等についても上記までご連絡下さい。

（回答が出来ない場合もございますので、予めご了承下さい。）